

## 授業改善のための学生アンケートの概要報告書（2015～2018）

東北学院大学

学長室インスティテューショナル・リサーチ（IR）課

### 報告の目的

東北学院大学では、2014年度より前期・後期それぞれにおいて授業改善のための学生アンケートをしている。

本調査の目的は全学的・組織的に授業科目ごとに継続的な改善を行い、かつ担当教員がより充実した授業実施に役立てることを目的としている。本報告書は2015年度前期から2018年度後期までを全学的な観点で下記の区分にて4年間の経年変化をまとめ報告し、今後の授業改善に活用することを目的とする。

- ① キリスト教学
- ② TG ベーシック科目
- ③ 教養教育科目
- ④ 英語教育科目
- ⑤ 外国語教育科目
- ⑥ 専門教育科目

### 授業改善のための学生アンケート調査概要

設問は別添の12問であり、前期・後期それぞれ授業科目毎に実施した。

#### <前期>

	実施教員数	対象科目数	実施科目数	実施率	実施科目 受講者数	有効回答数	回収率
全体	551	1,675	1,591	95.0%	106,927	86,208	80.6%

#### <後期>

	実施教員数	対象科目数	実施科目数	実施率	実施科目 受講者数	有効回答数	回収率
全体	534	1,716	1,716	100.0%	96,667	71,617	74.1%

### 調査結果の活用

「授業改善のための学生アンケート」の結果は、学生への速やかな開示、評価結果の高い教員への学長による表彰、一定水準を下回る評価結果の教員に対しては学部長による改善指導と改善報告書の提出を求めている。

これまで継続的に授業改善の取り組みの実施により、改善指導の対象を2018年度より総合評価2.5以下から3.0以下へと水準を高めさらなる教育改革に努めている。

ただし、3.0以下となる専任教員は0名であったことから、教授法の工夫やLMSの活用など新たな授業方法に積極的に取り組んでいる成果であることいえる。

※本調査による表彰、指導の対象は50人以上受講者がいる科目とする。

## 調査結果

### 問1 総合評価

1. たいへん良い授業であった
2. どちらかといえば良い授業であった
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば良くない授業だった
5. たいへん良くない授業であった

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	4.00	4.02	4.03	4.05	4.03	4.10	4.10	4.15		0.15
キリスト教学	3.76	3.90	3.83	3.93	4.05	4.02	4.07	4.19		0.43
TGベーシック	4.06	3.92	4.03	4.01	4.03	4.08	4.10	4.05		-0.01
教養教育	3.95	3.95	3.97	3.97	3.94	4.04	4.02	4.09		0.14
英語	4.03	4.14	4.08	4.19	4.06	4.20	4.13	4.25		0.22
外国語	4.23	4.31	4.33	4.34	4.32	4.36	4.31	4.30		0.07
専門教育	3.99	4.03	4.05	4.05	4.04	4.08	4.12	4.14		0.15

総合評価は2015年度時点においては総合評価においては上記授業科目において6区分で平均4.00から、2018年度後期では平均4.15と向上している。

特にキリスト教科目においては、3.76から4.19に0.43向上している。これは本学の建学の精神を理解し、卒業後に体現する人材を目指した担当教員の努力の表れである。

### 問3 この授業をそのぐらい欠席しましたか

1. 6回以上
2. 4～5回
3. 2～3回
4. 1回
5. 0回

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	4.28	4.10	4.31	4.16	4.35	4.26	4.40	4.29		0.01
キリスト教学	4.41	4.19	4.39	4.18	4.43	4.26	4.49	4.29		-0.12
TGベーシック	4.41	4.25	4.42	4.22	4.41	4.32	4.45	4.31		-0.1
教養教育	4.25	4.09	4.29	4.16	4.35	4.25	4.41	4.29		0.04
英語	4.46	4.10	4.40	4.13	4.45	4.21	4.45	4.21		-0.25
外国語	4.35	4.02	4.36	4.05	4.37	4.16	4.39	4.15		-0.2
専門教育	4.22	4.07	4.26	4.15	4.32	4.28	4.37	4.32		0.1

授業の出席率は、基準となる2015年度以前より出席管理の取組を行っており、欠席回数は平均して1回以下である。

問 4-1 1回の授業につき、予習・復習や関連学習の時間をどのぐらいしましたか

1. まったくしていない
2. 30分未満
3. 30～1時間未満
4. 1～2時間未満
5. 2時間以上

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	2.13	2.20	2.22	2.28	2.26	2.36	2.34	2.48		0.35
キリスト教学	1.70	1.78	1.69	1.72	1.84	1.84	1.84	1.94		0.24
TGベーシック	1.93	2.03	2.02	2.06	2.06	2.13	2.10	2.20		0.27
教養教育	1.78	1.85	1.83	1.91	1.90	1.98	2.01	2.09		0.31
英語	2.76	2.67	2.77	2.70	2.77	2.75	2.74	2.74		-0.02
外国語	2.65	2.54	2.62	2.65	2.62	2.70	2.68	2.73		0.08
専門教育	2.26	2.33	2.37	2.44	2.41	2.51	2.49	2.66		0.4

予習・復習時間については、全体で 2.13 から 2.48 へと向上はしているがそれぞれの区分でも平均して 1 時間未満であることから、問 5 とも関連し、自主学習を促すようシラバスへの明示、担当教員からの指導や LMS を活用した課題の提出など今後さらなる改善が必要である。

問 5 授業以外の学習について担当教員から指示や指導はありましたか

1. まったくなかった
2. あまりなかった
3. ときどきあった
4. よくあった

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	2.61	2.74	2.70	2.78	2.72	2.84	2.75	2.86		0.25
キリスト教学	2.33	2.58	2.46	2.57	2.61	2.69	2.55	2.68		0.35
TGベーシック	2.58	2.63	2.63	2.69	2.66	2.79	2.63	2.76		0.18
教養教育	2.35	2.52	2.42	2.52	2.46	2.59	2.51	2.65		0.3
英語	2.81	2.98	2.91	3.03	2.99	3.12	2.95	3.03		0.22
外国語	2.84	2.95	2.88	3.05	2.93	3.09	3.01	3.08		0.24
専門教育	2.70	2.81	2.80	2.85	2.78	2.89	2.82	2.91		0.21

全体では 2015 年前期 2.61 から 2018 年度後期 2.86 へと向上している。特に英語・外国語科目において平均で 3.0 を超える評価が得られた。授業外学習を促す指示・指導が進展しているが、問 4 とも関連して今後さらなる改善が必要である。

問6 この授業の到達目標を知っていますか

1. まったく知らない
2. あまり知らない
3. ある程度知っている
4. よく知っている

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	2.80	2.89	2.87	2.93	2.90	2.99	2.95	3.02		0.22
キリスト教学	2.59	2.80	2.70	2.79	2.89	2.95	2.90	3.01		0.42
TGベーシック	2.87	2.87	2.86	2.91	2.89	2.97	2.89	2.95		0.08
教養教育	2.68	2.75	2.74	2.78	2.73	2.86	2.81	2.91		0.23
英語	2.79	2.96	2.87	3.00	2.93	3.08	2.93	3.07		0.28
外国語	2.89	3.02	2.89	3.01	2.96	3.07	3.03	3.10		0.21
専門教育	2.84	2.93	2.92	2.97	2.94	3.02	3.00	3.04		0.20

シラバスへの到達目標の明示や、1回目の授業において説明を明確にしており履修している授業の目的や到達目標に対する理解が向上している。

問7 シラバスの授業計画通りに行われましたか

1. まったく行われなかった
2. あまり行われなかった
3. ある程度行われた
4. 行われた

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	3.22	3.22	3.25	3.24	3.26	3.25	3.31	3.28		0.06
キリスト教学	3.21	3.28	3.26	3.19	3.30	3.27	3.30	3.29		0.08
TGベーシック	3.27	3.22	3.28	3.27	3.29	3.23	3.33	3.26		-0.01
教養教育	3.17	3.16	3.21	3.20	3.21	3.20	3.26	3.23		0.06
英語	3.21	3.24	3.26	3.29	3.29	3.32	3.34	3.33		0.12
外国語	3.33	3.30	3.31	3.30	3.36	3.32	3.34	3.31		-0.02
専門教育	3.22	3.22	3.25	3.24	3.26	3.24	3.31	3.28		0.06

全体では2015年前期3.22から2018年度後期3.28へと向上し、シラバスでの具体的な到達目標と、計画的な授業設計が明示されている。シラバスの記載内容等を全学で点検・評価がなされていることがうかがえる。

問 8 この授業の成績評価の方法・基準を知っていますか

1. まったく知らない
2. あまり知らない
3. ある程度知っている
4. よく知っている

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	3.10	3.17	3.13	3.18	3.16	3.22	3.20	3.24		0.14
キリスト教学	3.12	3.23	3.03	3.16	3.22	3.26	3.14	3.27		0.15
TGベーシック	3.10	3.11	3.11	3.15	3.14	3.19	3.18	3.20		0.10
教養教育	3.00	3.06	3.04	3.11	3.08	3.17	3.13	3.17		0.17
英語	3.19	3.28	3.20	3.30	3.21	3.31	3.23	3.32		0.13
外国語	3.10	3.22	3.12	3.23	3.17	3.30	3.20	3.28		0.18
専門教育	3.12	3.18	3.16	3.19	3.18	3.22	3.23	3.24		0.12

全体では 2015 年前期 3.10 から 2018 年度後期 3.24 へと向上し、シラバスの記載内容等を全学で点検・評価を行い評価基準の明示と、授業における説明が適切に継続的に改善している。

問 9 この授業の内容を理解できましたか

1. まったく理解できなかった
2. あまり理解できなかった
3. ある程度理解できた
4. よく理解できた

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	2.95	2.99	3.00	3.02	3.03	3.09	3.07	3.11		0.16
キリスト教学	2.80	2.89	2.83	2.93	3.05	3.07	3.02	3.13		0.33
TGベーシック	3.06	3.02	3.07	3.07	3.07	3.11	3.09	3.10		0.04
教養教育	2.90	2.93	2.93	2.96	2.92	3.03	2.99	3.06		0.16
英語	2.99	3.07	3.05	3.11	3.08	3.17	3.12	3.19		0.20
外国語	3.09	3.11	3.1	3.14	3.14	3.18	3.15	3.16		0.07
専門教育	2.95	2.98	3.01	3.01	3.03	3.08	3.07	3.09		0.14

問 1 と同様にキリスト教学において 2015 年前期 2.80 から 2018 年度後期 3.13 へと 0.33 ポイント向上した。キリスト教学は東北学院の建学の精神を理解し、学位授与の方針「現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。」に即した人材を育成するための基礎となるため授業科目担当者の成果である。

問 10 この授業の内容に興味が持てましたか

1. まったくもてなかった
2. あまりもてなかった
3. ある程度もてた
4. 大いにもてた

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	3.01	3.03	3.06	3.07	3.07	3.12	3.10	3.15		0.14
キリスト教学	2.73	2.80	2.81	2.87	3.01	3.01	2.99	3.09		0.36
TGベーシック	3.08	3.00	3.07	3.05	3.06	3.11	3.07	3.08		0.00
教養教育	3.00	3.01	3.01	3.03	3.00	3.08	3.05	3.11		0.11
英語	2.94	3.03	3.00	3.06	3.01	3.11	3.04	3.12		0.18
外国語	3.23	3.25	3.26	3.24	3.27	3.28	3.22	3.20		-0.03
専門教育	3.02	3.04	3.08	3.08	3.08	3.12	3.13	3.14		0.12

問 1 および 9 と同様にキリスト教学の進展が評価される。全体としても 2015 年前期 3.01 から 2018 年度後期 3.15 へと向上し、シラバスでの到達目標や成績評価のみではなく学位授与の方針に基づくカリキュラムマップが示されていることで、学生が目的意識を持って履修できるよう適切に継続的に改善している。

問 11 この授業に対する教員の熱意を感じましたか

1. まったく感じなかった
2. あまり感じなかった
3. ある程度感じた
4. 大いに感じた

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	3.24	3.24	3.25	3.25	3.25	3.29	3.28	3.31		0.07
キリスト教学	3.18	3.25	3.26	3.28	3.36	3.35	3.41	3.42		0.24
TGベーシック	3.24	3.12	3.21	3.17	3.21	3.23	3.22	3.21		-0.03
教養教育	3.20	3.09	3.20	3.19	3.18	3.22	3.22	3.25		0.05
英語	3.20	3.30	3.29	3.33	3.29	3.37	3.36	3.37		0.17
外国語	3.35	3.38	3.38	3.42	3.45	3.47	3.44	3.42		0.07
専門教育	3.24	3.25	3.26	3.26	3.24	3.27	3.28	3.29		0.05

自主学習を促すようシラバスへの明示、授業計画に基づく体系的な取り組みのほかに LMS を活用など全体として学修成果を得られるよう体系的なカリキュラムが構築され、授業改善のための学生アンケートも適切に授業科目レベルでの点検・評価となり、一定の水準まで全体的に引き上げられた。

問 12 この授業によって得られた成果はありましたか

1. まったくなかった
2. あまりなかった
3. ある程度あった
4. 大いにあった

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期		差
全体	3.07	3.09	3.11	3.13	3.12	3.18	3.16	3.20		0.13
キリスト教学	2.80	2.91	2.87	2.96	3.06	3.07	3.06	3.16		0.36
TGベーシック	3.15	3.07	3.15	3.12	3.13	3.17	3.14	3.14		-0.01
教養教育	3.01	3.02	3.04	3.05	3.03	3.09	3.07	3.13		0.12
英語	3.03	3.11	3.09	3.18	3.11	3.20	3.13	3.21		0.18
外国語	3.25	3.28	3.30	3.28	3.30	3.31	3.27	3.28		0.03
専門教育	3.08	3.11	3.14	3.15	3.14	3.18	3.19	3.21		0.13

学生が学修成果を得られている実感がすべての項目で3.0を超える水準まで高めることができた。今後はさらなる学修効果を高めるための体系的なカリキュラム構築と、学修成果の可視化によって学生の学修意欲が向上するように、継続的な改善を続けていくこととなる。

※差＝2018 後期-2015 前期